

令和5年度 学校関係者評価報告書

学校法人 立志舎
 京都公務員&IT会計専門学校
 学校関係者評価委員会

自己点検・自己評価委実施委員会が作成した「令和4年度自己評価表」を基に学校関係者評価を行いました。その結果を以下の通り報告いたします。

1 令和5年度学校関係者評価委員会

<委員> (五十音順)

後藤 孝祐 氏 防衛省自衛隊京都地方協力本部京都地区隊長
 志萱 仁 氏 日本情報産業株式会社 西日本支社 システム部
 谷口 陽亮 氏 谷口税理士事務所所長 税理士
 中川 恵 氏 京都府警察 向日町警察署 警務課 警務係
 山出 隆太 氏 滋賀県立彦根工業高等学校 事務室

<事務局>

名雪 英之 京都公務員&IT会計専門学校 教務部顧問
 中村 保弘 京都公務員&IT会計専門学校 教務部課長
 中村 正之 京都公務員&IT会計専門学校 教務部課長
 寺田 佳彦 京都公務員&IT会計専門学校 教務部課長
 山野 勝和 京都公務員&IT会計専門学校 教務部課長
 岡田 俊介 京都公務員&IT会計専門学校 教務部課長

2 基本項目ごとの学校関係者評価・意見

項目	評価・意見
基準1 教育理念・目標	<p>イ. 教育理念、目的、育成人物像について定められているか 学校の目的を「教育基本法及び学校教育法に基づき人格の陶冶とIT、会計、法律、行政、ビジネス及び一般教養に関する正しい知識を身につけ、日本経済の発展に貢献出来る人材の育成を目的とする。」としている。さらに専門分野の特性が明確になるように、学科ごとの目標も定め、ホームページに基本情報として情報公開している。また、学園の基本目標として、『学生から信頼され支持される学校づくり』とし、教職員一丸となって取り組んでいる。</p> <p>ロ. 学校における職業教育の特色は何か 教育の特色は、本学独自の教育システムである「ゼミ学習」である。「ゼミ学習」によって、明るく楽しい学園生活と資格取得実績、公務員採用試験合格実績、民間企業就職実績が両立している。「ゼミ学習」については、入学希望者にはオープンキャンパス等でわかりやすく説明している。</p> <p>ハ. 理念、目的、育成人材像、特色などが学生、保護者等に周知されているか ホームページへの掲載や、オープンキャンパスでの説明など、学生・保護者・入学希望者等に周知されている。</p>

	<p>ニ. 各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界にニーズに向けて方向づけられているか</p> <p>育成人材像が業界のニーズに向けて方向づけられるように、毎年開催する学内就職セミナーや官公庁説明会（今年度はオンラインにより実施）および教育課程編成委員会を通して業界のニーズを把握し、ゼミ学習により日々学生を指導している。</p> <p>基準1についての自己評価は委員の方々から「適正」とであると評価され、次の意見があった。</p> <p>(1) 学校の特徴であるゼミ学習を続けていただき実績を伸ばしてほしい。</p> <p>(2) 就職、公務員試験対策においてもゼミ学習によるコミュニケーションが役立つ。</p> <p>評価に関して問題はなく、今後もゼミ学習を継続してほしい。</p>
<p>基準2 学校運営</p>	<p>イ. 目的等に沿った運営方針が策定されているか</p> <p>各学科の目的等を達成するため「学生から信頼され支持される学校づくり」を学園の基本目標としており、教職員に周知徹底している。各部署には数値目標が明確にされており、その目標達成のために授業を組織的に運営している。</p> <p>ロ. 運営組織や意思決定機能は規則等において明確化されているか、有効に機能しているか</p> <p>運営組織図があり、それに従って運営されている。各部署の役割と権限、人的体制が十分に整っている。運営組織や意思決定機能は効率的なものになっている。</p> <p>ハ. 人事、給与に関する制度は整備されているか</p> <p>人事や賃金での処遇に関する制度については、採用制度、昇進試験制度、給与規程、人事考課制度を整備している。</p> <p>ニ. 教務、財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか</p> <p>日常的な意思決定は、管理職が行っている。学校間の調整は企画本部また学園協議会で行っている。理事会、学園協議会、責任者会議、課会議、公務員企画会議といった意思決定プロセスが制度化され、その権限を明確にしており、意思決定システムは確立されている。</p> <p>ホ. 教育活動に関する情報公開が適切になされているか</p> <p>資格取得実績や就職実績は、その都度ホームページで情報公開し、速報を作成してオープンキャンパス等で入学希望者に配布している。また、信ぴょう性を確保するために本人の了承を得て合格者情報に氏名・出身校名を載せているので、志望者や保護者の方の判断にも役立っている。</p> <p>ヘ. 情報システム化等による業務の効率化が図られているか</p> <p>情報システムについては、学務システム（入試システム、学籍管理システム）、経理システムを個々に運用している。また、就職部は求人情報をデータベース化して業務の効率化を図っている。学務システム（入試システム、学籍管理システム）は仮想プライベートネットワーク（VPN 網）を全拠点で結び、セキュリティを強化して運用している。</p> <p>また、全教職員にパソコンを貸与し、業務改善に取り組んでいる。</p> <p>基準2についての自己評価は委員の方々から「適正」とであると評価され、次の意見があった。</p> <p>(1) 学校の運営については、明確化されており問題ないと思う。</p> <p>(2) 情報システム等に関して仮想プライベートネットワーク等によりセキュリティも万全であり特に問題はないと思う。</p> <p>(3) 感染症等に対する対応も迅速であり今後も取り組みを続けて欲しい。</p>

	<p>(4) 質問 働き方改革に向けての取り組みについて 回答 コロナ禍においては一部オンライン授業を実施していたが、現在は対面授業を重視した働き方になっている。</p>
<p>基準3 教育活動</p>	<p>イ. 教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか カリキュラムは、教育課程編成委員会での外部委員の意見を参考にカリキュラム作成委員会を開催し、定期的な見直しを行っている。授業はゼミ学習を取り入れており、知識をより確実にするばかりでなく、積極性、表現力、コミュニケーション能力などの人間性も滋養している。</p> <p>ロ. 教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた教育機関としての修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか 官公庁説明会および学内就職セミナーで、官公庁および企業から回収したアンケート回答を基にした「社会が求める人材像」を学生に明示しており、学生が専門的知識や技術を持った上で、公務員を含め多岐にわたる業界や職種の人材ニーズに対応できる教育を実践している。各学科とも修業年限で「社会が求める人材像」のレベルまで達するようにしている。また、超難関資格を目指す学生には研究学科への進学を可能とし、さらにレベルアップできるようにしている。</p> <p>ハ. 学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか カリキュラムは、年2回開催する教育課程編成委員会での外部委員の意見を参考に、カリキュラム作成委員会において社会のニーズに対応するために必要な科目を体系的に編成している。また、カリキュラム会議において各学科で目標とする資格取得のために定期的に見直しを行っている。</p> <p>ニ. キャリア教育、実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか 専門知識や技術以外にもビジネスマナー、コミュニケーション能力などを育成するキャリア教育を実践するため、該当する授業科目を設置している。今後も社会の人材ニーズや指導方法などの検証は継続していく必要がある。</p> <p>ホ. 授業評価の実施・評価体制はあるか 授業運営の適否を判断し、授業システムの見直しをするため、学生による授業評価アンケートを実施している。また例年ならば年2回、他校教員による見学会を実施し、相互に評価していますが、コロナ禍ということもあり中止し、校内での各校ごと巡回を多くした。</p> <p>ヘ. 成績評価・単位認定の基準は明確になっているか 学則、専門課程便覧に単位認定試験を行い、成績付与を行うことを明示しており、成績評価・単位認定の基準を明確にしており、学生にも周知徹底し、厳正に行っている。 GPA 算定をするための、システムを改修し導入している。</p> <p>ト. 資格取得の指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか 各学科で目標とする資格・試験を明確に定め、その合格がより確実になるようなカリキュラム編成をしている。そして、試験終了後カリキュラム会議を開き、次回に反映させるようにしている。各学科で各科目のシラバスを作成し、カリキュラム編成においても目標達成のため科目の適正な配置を行っている。</p> <p>チ. 人材育成目標に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか 育成目標に向け授業を行うことができる教員として、専門性、人間性、教授力、必要資格等の諸要件を備えた人材の確保はできている。</p> <p>リ 職員の能力開発のための研修等が行われているか 教員の専門性や教授力等を常にレベルアップするため、年間を通じての自己発研修や企業等との連携により最新の動向を取り入れる研修を行っている。 オンライン授業については Office365 および Zoom を利用した。</p>

	<p>基準3についての自己評価は委員の方々から「適正」であると評価され、次の意見があった。</p> <p>(1) カリキュラム作成等において、外部委員の意見を参考にしながら作成しているということで、より社会ニーズにあった学習ができると思う。</p> <p>(2) 資格を目指す体系については、在学中の経験として、ある目標を達成した後は、次の目標が設定され明確化されていた</p> <p>(3) GPA 算定に関しては就職活動で使用することもあり、とても良い取り組みだと思う。</p> <p>(4) ゼミ学習を通じて専門的な知識を身に付けるだけでなく、社会に出てから役立つ話のしかた、聞き方等の人間的な対応力まで身に付けることができる。</p>
<p>基準4 学修成果</p>	<p>イ. 就職率の向上が図られているか 毎年ほぼ全員が就職内定をしている。</p> <p>ロ. 資格取得率の向上が図られているか 前年実績と今後の動向を踏まえ翌年の教育方法と科目編成を行っている。就職率・資格取得率とも向上が図られている。 〈ここで各学科より、就職実績及び資格取得実績の報告があった〉</p> <p>ハ. 退学率の低減が図られているか 一人も退学者を出すことなく入学者全員を卒業させることが最終目標であるため、担任をはじめ各学科の教員が学生全員に目を配り、声をかけて退学率の低減を図っており、欠席者には担任が電話連絡して欠席が長期にならないようにしている。学生相談室を設置しており、担任以外にも相談できるようにしている。</p> <p>基準4についての自己評価は委員の方々から「適正」であると評価され、次の意見があった。</p> <p>(1) 就職実績、公務員合格実績並びに各種検定試験の合格に関しては特に問題はなく今後も継続して実績を積み重ねて欲しい</p> <p>(2) 学生が入学時の目標を達成できるよう継続的な取り組みを行って欲しい。</p>
<p>基準5 学生支援</p>	<p>イ. 進路・就職の関する支援体制は整備されているか 公務員希望者には、クラス担任が公務員採用試験の出願から受験までの相談、指導を行っており、官公庁の人事担当者を招き官公庁説明会を実施している。民間就職希望者には、就職相談室を設け、就職担当者およびクラス担任が学生の就職相談、指導を行っている。また、企業の人事担当者を招き学内就職セミナーを実施している。官公庁説明会および学内就職セミナーはオンラインで実施し、学生の就職活動に支障がないようにしている。</p> <p>ロ. 学生相談に関する体制は整備されているか 学生の相談はまずクラス担任にするが、その他にも学生相談室が設けられているので、学生は相談室の担当者に相談している。</p> <p>ハ. 学生の経済的側面に対する支援体制は整備されているか 学生の経済的側面に対する支援体制として特別奨学生試験、各種特待生制度、経済的理由による修学支援奨学生制度や延納制度を設けている。これらの制度はすべて、貸与ではなく給付となっている。 2020年4月よりスタートした高等教育無償化の就学支援対象校として引き続き文部科学省より認定された。</p> <p>ニ. 学生の健康管理を担う組織体制はあるか 学校保健安全法に基づく健康診断を全学生に実施している。また、指定病院が学生の健康相談などに応じている。</p> <p>ホ. 課外活動に対する支援体制は整備されているか コロナ禍においても今年度は、規模を縮小して実施した。京都校独自でクラブ活動、体育祭、球技大会および学園祭を実施した。</p>

	<p>へ. 学生の生活環境への支援は行われているか 遠隔地出身者のための提携している学生寮として学生に紹介し、安心して学校生活を送れるよう支援をしている。</p> <p>ト. 保護者と適切に連携しているか 学生に対して適切な指導、相談を行うためにも、出席状況、成績表、相談室のお知らせ等を年に4回保護者に送付している。また、必要に応じて保護者と面談をしている。</p> <p>チ. 高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか 高校等との連携については、民間就職支援、公務員採用試験受験指導、情報処理セミナー、簿記セミナー等をオンラインで開催し、コロナ禍ではあるが高校生のニーズに応えられる工夫をした。</p> <p>新型コロナウイルス対策として、登校時に校舎入り口で検温および消毒をして、授業開始前には体調チェックリストの記入、授業終了後には机イス等の消毒をして清掃チェックリストを記入している。また、教室の座席やエレベーターの人数制限等ソーシャルディスタンスを保つようにしている。</p> <p>各ゼミに飛沫防止パネルを設置し、本学独自の学習スタイルであるゼミ学習も工夫をしながら実施した。</p> <p>家庭内に Wi-Fi 環境が整っていない学生に対しては、モバイルルータやノート PC を貸出し、オンライン授業を受講させた。</p> <p>基準5についての自己評価は委員の方々から「適正」とであると評価され、次の意見があった。</p> <p>(1) 学生に対して適切な支援が行われている (2) 学校行事に関しては学生生活のなかで一番思い出となっているので、今後は是非盛り上げて欲しい (3) 高校等との連携については、高校時代にとってもためになる講習会に参加した経験がある。この経験が、大きな目標につながった。今後も色々な高校で実施出来たら高校生のために良いと思います。 (4) 質問 コロナ感染症が第5類に変更されてことによる取り組みは？ 回答 文部科学省等の対応に従い、本学の対応は、セミナー等に関して教職員はマスクをする。参加者は前向きの授業を行なう前提で、マスク着用は本人の判断にゆだねるが、状況により推奨する。 在学生の授業についての教職員の対応は学生第一という考えの下、学生が安心して授業に取り組む。この着用は本人の判断とするが、感染防止対策としてマスクの着用が効果的な場面では推奨する。ゼミ学習を行う際はマスクを着用する。場面によってはアクリル板も利用する。 学生のマスク着用は個人の判断とする。なお、ゼミ学習を行うときはマスクを着用する。</p>
<p>基準6 教育環境</p>	<p>イ. 施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか 設置基準に基づき教室、演習室、教員室、事務室などを設置しており、維持管理については定期的な点検整備を行っているため、施設・設備は学生に教育上支障がないように整備されている。 学校全体に Wi-Fi 環境を整備し、オンライン授業に対応できるよう準備した。 さらに今年度からタブレットで問題演習ができる環境準備を進めている。</p> <p>ロ. 防災に対する体制は整備されているか 防災指導担当者を校務分掌一覧に規定し、定期的に防災訓練を実施し、教職</p>

	<p>員、学生に防災に対する意識の喚起を行っている。しかし、大規模災害等何が起こるかわからない状況を考え、今後も改善していく。 危機管理マニュアルを作成・整備していく。(R5年度に完成)</p> <p>基準6についての自己評価は委員の方々から「適正」とであると評価され、次の意見があった。</p> <p>(1) 防災管理マニュアル作成は令和5年度4月に完成し運用を始めている。 防災意識をもち常に準備を進めておくことが大切である。</p> <p>(2) 自衛隊において本学学生に対し防災講話を行っているので、学生の防災に関する意識向上に役立てることができると思う。</p>
<p>基準7 学生の受け入れ募集</p>	<p>イ. 学生募集活動は適正に行われているか ロ. 学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか 募集活動において教育成果を正確に伝えるため、公認会計士試験、税理士試験、情報処理技術者試験などの高度な試験や公務員採用試験合格においては、信ぴょう性を確保するために本人の了承を得て合格者情報に氏名・出身校名を載せており、志願者や保護者の方の判断にも役立つと思われる。 入学者に対するアンケートを行い、卒業生の活躍する教育成果が進路を決定する上で大いに参考になったとの数多くの回答を得ている。</p> <p>ハ. 学納金は妥当なものとなっているか 学納金に関しては学校の財政基盤の問題がでないように適正かつ妥当な金額に設定されている。</p> <p>令和3年度よりオンラインによるオープンキャンパスやYouTube オープンによる学校説明、進路個別相談会を実施している。 基準7についての自己評価は委員の方々から「適正」とであると評価され、次の意見があった。</p> <p>(1) 就職実績および合格実績を入学希望者等にしっかり伝えているため、入学者は安心して学校を選択できるのではないかと。</p> <p>(2) オープンキャンパスで学校に行った際も実績がわかり易く表示してありとても良かった。</p>
<p>基準8 財務</p>	<p>イ. 中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか。 ロ. 予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか ハ. 財務について会計監査が適正に行われているか。 ニ. 財務情報公開の体制整備はできているか</p> <p>財務全般についてですが、少子化傾向が続く中、財政基盤を中長期的に安定させていく必要がある。</p> <p>予算の編成及び執行に関する規程は、寄附行為、経理規程に定められている。予算の編成は適切手続きを経た上で確定し、予算を執行している。</p> <p>会計監査については、監事2名が事業説明を受けて、財産目録、貸借対照表、収支計算書によって会計監査を実施している。その結果を監査報告書に記載し、理事会及び評議員会へ報告している。</p> <p>私立学校法第47条に基づき、財務情報として財産目録、貸借対照表、収支計算書、事業報告書、監事監査報告書を作成し、公開している。さらに、ホームページ上では事業の概要、財産目録、資金収支計算書、事業活動収支計算書、貸借対照表を公開している。</p> <p>以上の点から財務については適切に運用及び管理されている。</p> <p>基準8についての自己評価は委員の方々から「適正」とであると評価され、次の意見があった。</p> <p>(1) 適切に会計監査が行われているため特に問題はないと思う。</p> <p>(2) 適切に情報公開が行われているので問題はないと思う。</p>

<p>基準9 法令等の遵守</p>	<p>イ. 法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか 各種法令遵守に関する研修への参加や資料配布、および毎年人権研修を実施している。法令遵守規程を作成し、法令遵守推進管理者をおき、法令遵守の推進を図っている。</p> <p>ロ. 個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか 個人情報保護の取り扱いに関しては、個人情報保護規定、プライバシーポリシーを設定しており、学園の保有する個人情報を委託業者に取り扱わせる際には、個人情報保護に関する内容を文書化している。 また、本学では信ぴょう性を確保する目的で、学生の了解を得られる場合においては、公務員採用試験、国家試験等の合格情報や就職実績の情報を氏名や出身校名を出して掲載しており、この場合においては、教職員より学生に趣旨を説明し、文書にて承諾を得た旨記録し、個人情報を取り扱っている。</p> <p>ハ. 自己評価の実施と問題点の改善に努めているか</p> <p>ニ. 自己評価結果を公開しているか 自己点検・自己評価委員会を設置し、自己点検・自己評価を行っており、その結果についてはホームページに公開している。今後も自己点検・自己評価を実施して問題点を分析し、より良い学園づくりに努力していく。</p> <p>基準9についての自己評価は委員の方々から「適正」とであると評価され、次の意見があった。 (1) 学生の個人情報管理は非常に大切である。その個人情報の管理が適切に行われているとの事なので問題はない。 (2) 細部にわたり制度化され、ルールが決められており問題はないと思う。</p>
<p>基準10 社会貢献・地域貢献</p>	<p>イ. 学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか。 ロ. 学生のボランティア活動を推奨、支援しているか。 ハ. 地域に対する公開講座・教育訓練の受託等を積極的に実施しているか。 社会貢献・地域貢献全般については、学生のボランティア活動を奨励し、支援している。学生は近隣の道路清掃をしており、その清掃活動は近隣からもとても好評である。 地域の状況に応じて、社会貢献・地域貢献ができていないのではないかと思います。課題や今後の改善も必要であるため、やや適切である。</p> <p>基準10についての自己評価は委員の方々から「やや適正」とであると評価され、次の意見があった。 (1) ボランティア活動に関しては、自分から積極的に参加するのは難しいと思うが参加することで得るメリットも大きいので、是非参加させて欲しい (2) コロナ禍で、外部との接触が難しい時期があったが、今後は積極的に活動することを期待する</p>

総括的な意見

- (1) コロナ感染症が5類相当になったことで、今後の学園生活がコロナ前に戻り充実したものになるよう工夫することで学生生活の思い出や、経験を数多く作れるように努力する。
- (2) 今後も高校生が本学に入学した時の思いを達成できるよう、工夫、改善していく。
- (3) 現在の状況を考え防災に対する意識を職員、学生が共通で認識し対応できるようにしていく。
- (4) ボランティア活動に積極的に参加できるシステムを考える。